

**フェニックス プラン(三菱製紙 中期再生計画)
最終年度にあたって**

**2007年5月14日
三菱製紙株式会社
取締役社長 佐藤 健**

～ フェニックスプラン(3カ年)の達成へ ～

	2004年度 実績	2005年度		2006年度		2007年度	
		フェニックス プラン	実績	フェニックス プラン	実績	フェニックス プラン	予想
売上高	2,347億円	2,300億円	2,285億円	2,300億円	2,443億円	2,350億円	2,580億円
経常利益	17億円	35億円	48億円	45億円	53億円	70億円	70億円
売上高 経常利益率	0.7%	1.5%	2.1%	2.0%	2.2%	3.0%	2.7%
有利子負債 残高	1,940億円	1,740億円	1,724億円	1,640億円	1,634億円	1,540億円	1,540億円
自己資本比率	17.2%	20.0%	22.0%	22.0%	22.6%	24.0%	24.0%
期末従業員数	4,902人	4,800人	4,717人	4,800人	4,541人	4,700人	4,540人

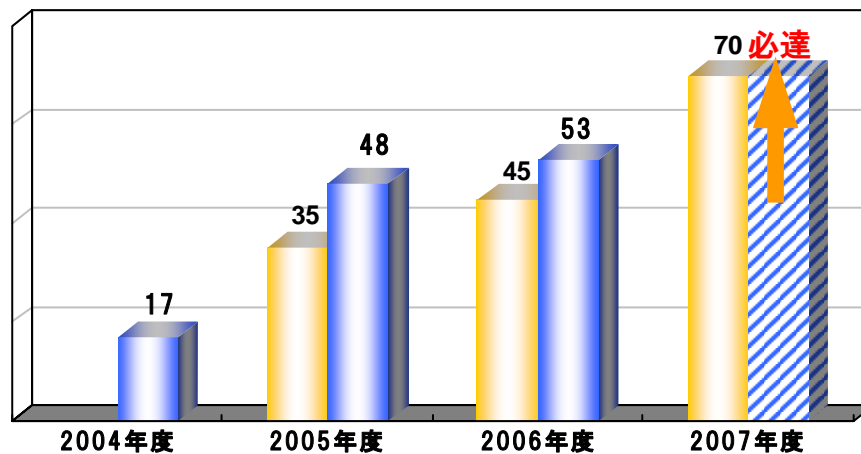
↓
復配実施(3円)

↓
配当予定(5円)

実績推移と今年度予想(連結ベース)

経常利益

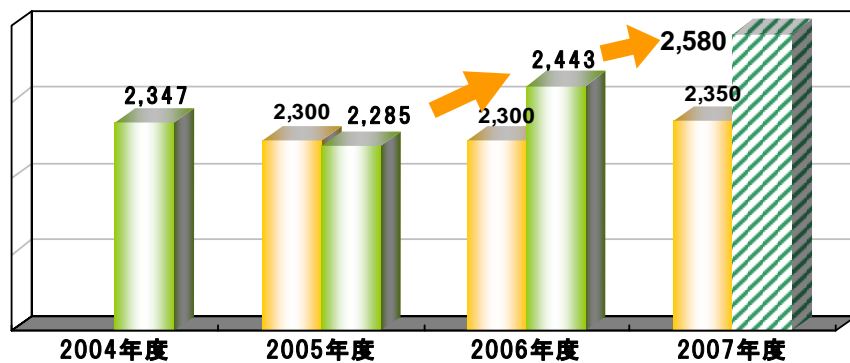
(億円)



■ フェニックスプラン ■ 実績 ■ 予想

売上高

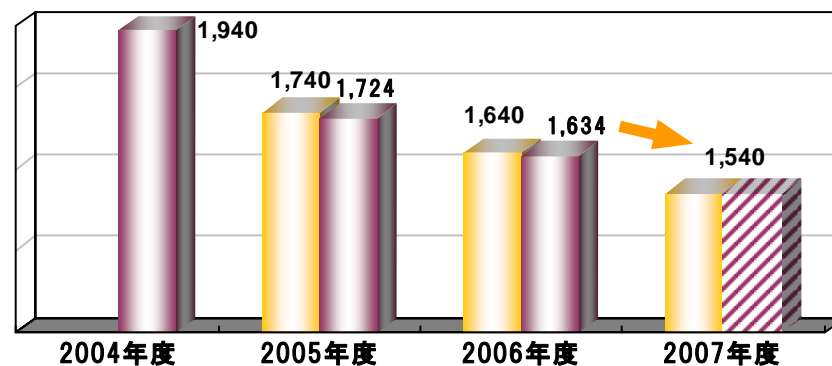
(億円)



■ フェニックスプラン ■ 実績 ■ 予想

有利子負債残高

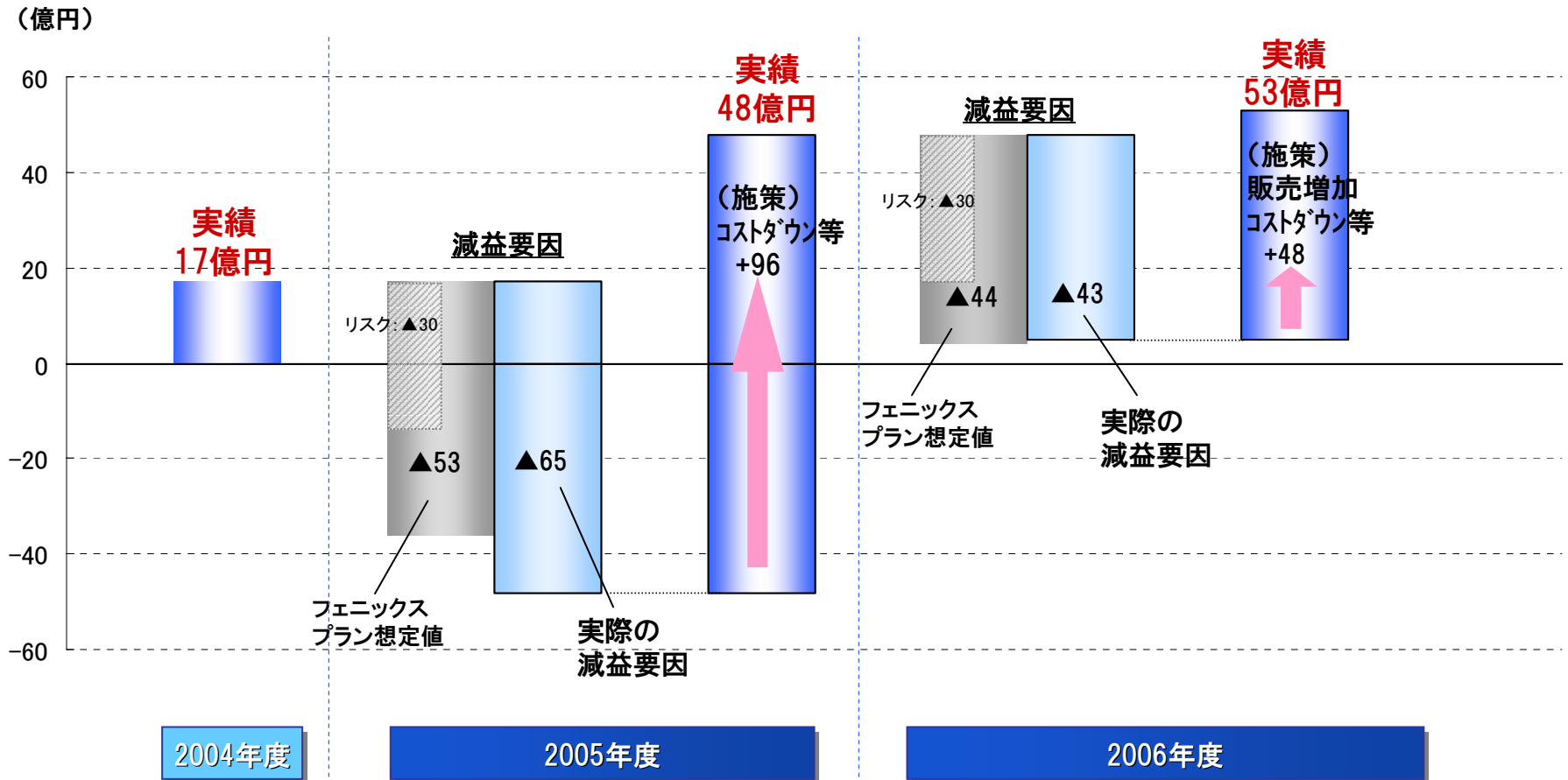
(億円)



■ フェニックスプラン ■ 実績 ■ 予想

経常利益(連結ベース)

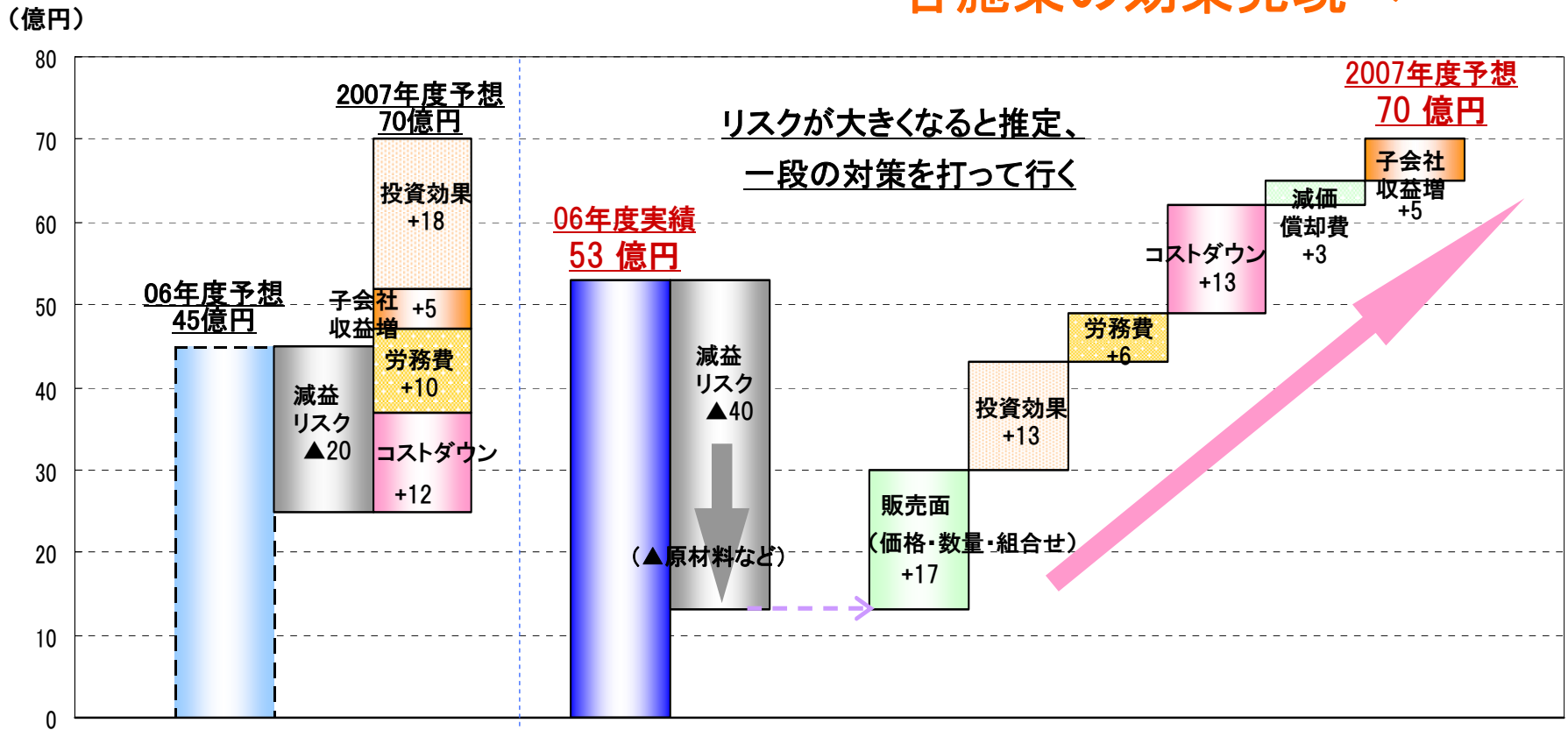
～ 原燃料価格高騰と市況低迷を乗り越えてきた ～



2007年度 目標の達成に向けて

経常利益(連結ベース)

～ 各施策の効果発現へ ～



前回中間期の予想(2006年11月)

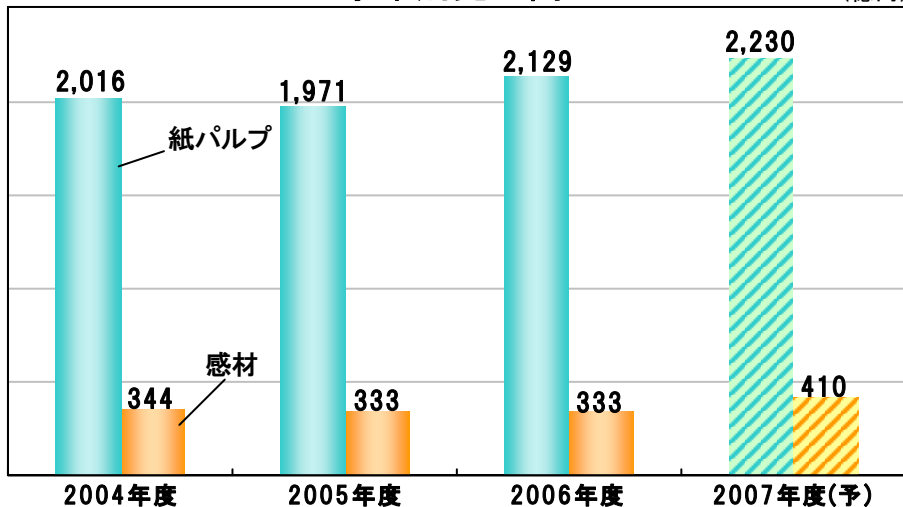
2007年度(2007年5月予想)

単体：事業部売上増加を図る

(単位：億円)	2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 予想	2006～2007年度の 主要施策
洋紙事業部 ・印刷・情報用紙	1,124	1,151	1,190	◆八戸工場戦略投資 紙製品…増産/品質向上 パルプ…完全自給化 ◆三菱商事パッケージング・洋紙事業部 → 三菱製紙販売 ◆新商品展開 (超高白塗工紙、各種嵩高シリーズ、FSC森林認証紙)
デジタル イメージング 事業部 ・IJ用紙 ・写真感材 ・印刷感材	331	353	420	◆「ピクトリコ」ブランドの展開 ◆モノクロームIJ「月光」の販売 ◆販売拡大：印画紙残存需要や新規分野 ◆北上ハイテクペーパーの操業度向上
開発事業部 ・フィルター ・不織布 ・リライト ・蓄熱材 ・フィルムetc	44	49	60	◆鳥インフルエンザフィルター等 ◆各フィールドでの新規用途開拓

事業別売上高

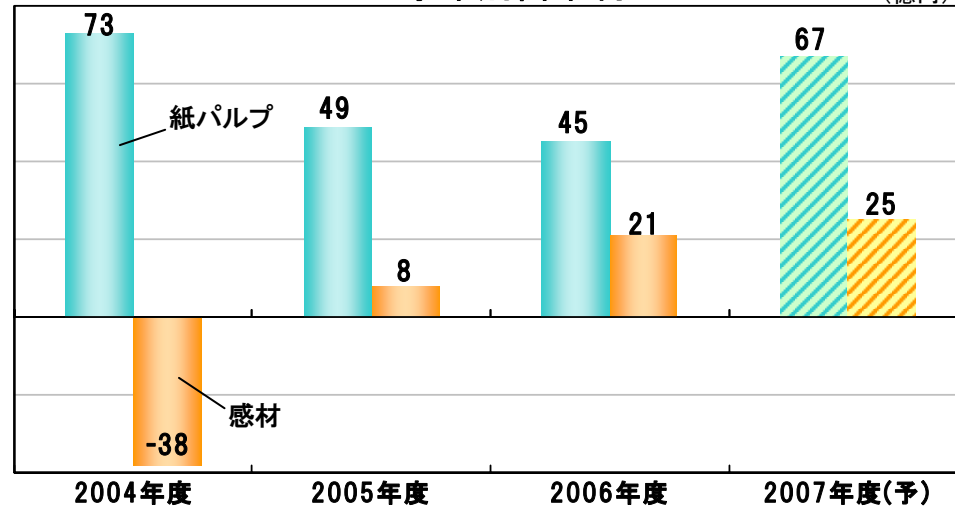
(億円)



売上高	2004	2005	2006	2007(予)
紙パルプ	2,016	1,971	2,129	2,230
感材	344	333	333	410
その他	188	201	214	220
消去又は全社	△ 201	△ 220	△ 233	△ 280
連結計	2,347	2,285	2,443	2,580

事業別営業利益

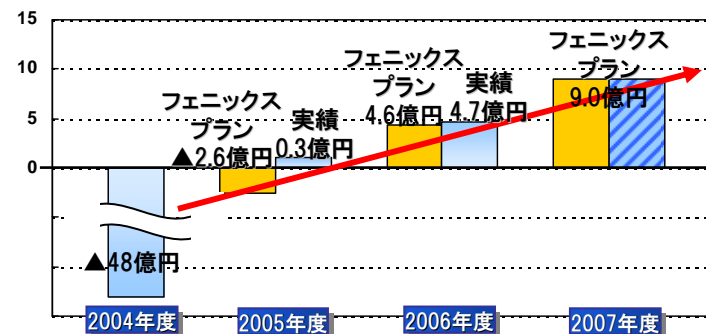
(億円)



営業利益	2004	2005	2006	2007(予)
紙パルプ	73	49	45	67
感材	△ 38	8	21	25
その他	8	7	7	8
消去又は全社	0	1	0	0
連結計	43	65	73	100

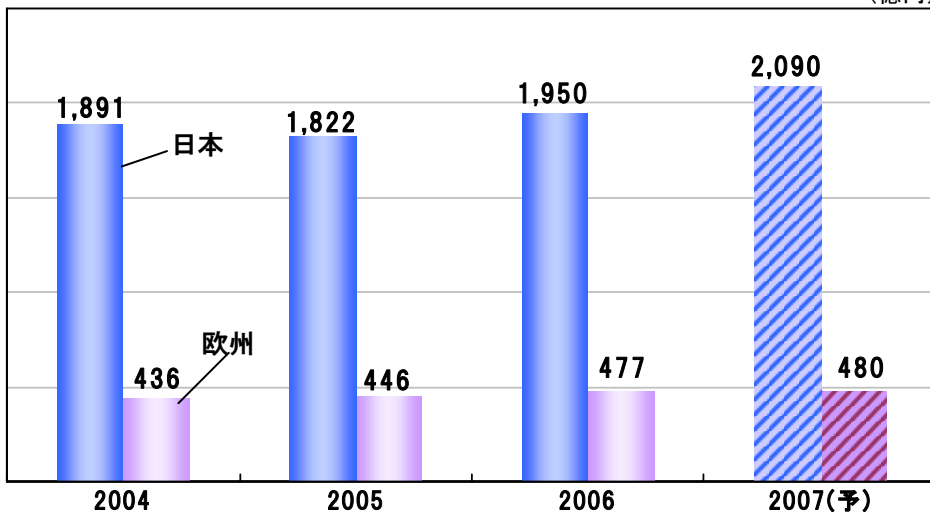
感材事業が低迷脱出 (→プロダクトミックスが変化)

(参考)
北上ハイテクペーパー
経常利益推移



所在地別売上高

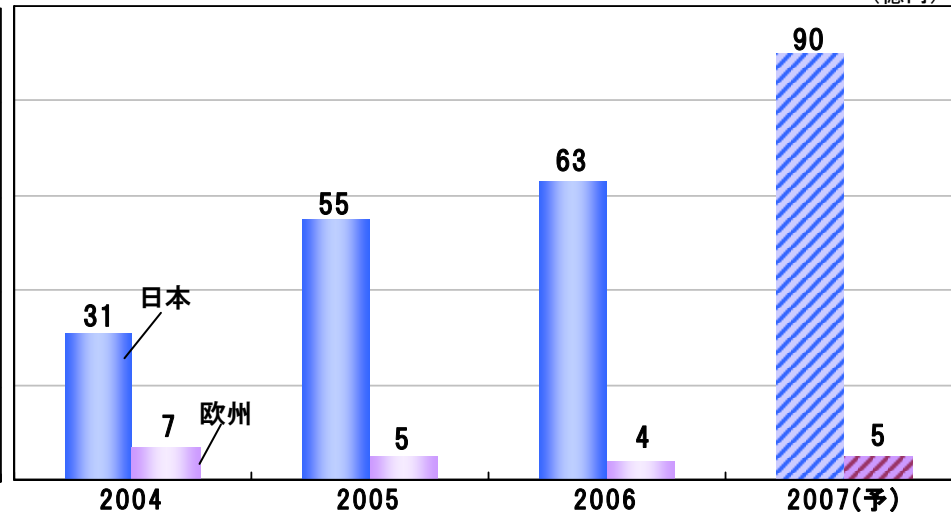
(億円)



売上高	2004	2005	2006	2007(予)
日本	1,891	1,822	1,950	2,090
欧州	436	446	477	480
米国	109	100	100	100
消去又は全社	△ 89	△ 83	△ 84	△ 90
連結計	2,347	2,285	2,443	2,580

所在地別営業利益

(億円)



営業利益	2004	2005	2006	2007(予)
日本	31	55	63	90
欧州	7	5	4	5
米国	1	1	2	2
消去又は全社	4	4	4	3
計	43	65	73	100

➡ 今後、欧州事業を改革する

(参考) ドイツ事業... ミッドタームプラン[2007年～2010年 収益構造改善計画]を実行

■厳しい経営環境

- － エネルギー高(天然ガスetc.)
- － 購入パルプ・薬品高
- － 販売競争の激化
- － ユーロ高(輸出品の採算低下)

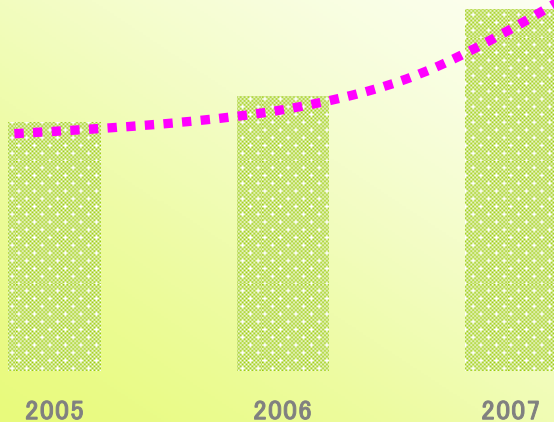


■収益向上への施策

- － プロダクトミックスの更なる改善
- － 徹底したコストダウンの推進
- － 生産性向上投資の実施

再生から発展へ

フェニックスプラン



ポスト フェニックスプラン

- 連結経常利益100億円の早期実現
- 売上高の一層の拡大
- 財務体質の更なる強化

～ 企業の発展拡大 ～

～ 経営基盤の確立 ～

本資料における将来の見通し等に関する記載は、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づくものです。
今後の実際の業績は、記載の見通しと異なる場合があることをご了承願います。